

一時待機中の青年海外協力隊が、株式会社サンテック で外国籍従業員に日本語を指導。

青年海外協力隊の上原由雅さん(香川県高松市出身)は、コロナ感染拡大の影響で、3月下旬に日本に一時帰国し、5月下旬から地元の民間企業株式会社サンテックで、同社の外国籍従業員に日本語の授業を実施しています。

2020年3月中旬から4月にかけて、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、世界76ヶ国に派遣中であったJICA海外協力隊約1,800名は、日本に一時帰国し、今もまだ待機生活を送っています。

上原さんは、2019年1月からインドのジャワハルラル・ネルー大学 言語文学文化学部で日本語の指導を行っていました。2年間の任期のちょうど折り返しに、一時帰国となり再派遣を待ちながら、香川県の自宅で待機していました。

株式会社サンテック(綾川町)は、各種プラント設備機器製作を行い、ミャンマー・中国・スペインにも事業所があり広く海外展開しています。青木大海代表取締役社長は、これからの事業展開のためには、技能実習生を含む外国籍従業員とのコミュニケーションが重要と考えておられました。JICA海外協力隊の一時帰国を知り、彼らへの日本語の指導を待機中の隊員に依頼しました。

現在上原さんは、同社の技能実習生や国際事業部などの外国籍スタッフに日本語の授業を行っています。今までの日本語教師のキャリアを活かして、待機中も国内で活躍している上原さんをぜひ取材してください。

—詳細—

取材日:2020年6月22日(月)14時30分から16時まで

取材場所:株式会社サンテック 国際事業部会議室 (香川県綾歌郡綾川町陶1004-35)

取材内容:待機中の上原隊員が、同社のミャンマー国籍従業員への日本語の授業

※取材いただける場合、事前に下記までご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 四国 担当 : 山科
TEL : 087-821-8824 / E-mail:Yamashina.Emi2@jica.go.jp